

2007.3

# あつかし 荘だより

## まごころ・ふれあい・思いやり

あつかし荘は、利用者の主体性と自主性を尊重し、人間としての尊厳に根ざした介護を進めます。

あつかし荘は、家族・地域社会との連携を密にし、あたたかい家庭的環境を築きます。

## リレー エッセイ



松浦啓子

副主任介護士

地域で選ばれる施設を目標として

あつかし荘に勤めて、はや20年が過ぎてしまいました。福祉の右も左もわからなかったのですが、利用者さんの笑顔や職場の皆さんに支えられてここまで来れたように思います。高齢になれば誰かの手を借りなければ生活できなくなります。今は介護する側ですが、いつかは介護される側になるかもしれません。これからも、地域の皆さんに「選ばれる施設」を目標として頑張りたいと思いますのでどうぞよろしくお願ひいたします。



## 新年会ひらき健康を誓う 津軽三味線で一年の幕開け

テーブルバイキングでにぎやかに

1月11日(木)あつかし荘ホールにおいて、新年会が開かれました。小野園長の新年のあいさつのおと、ボランティアでおいでいただいた津軽三味線「みどり会」の皆さんによる三味線演奏が披露されました。勇壮な津軽三味線のほか、懐かしい童謡や民謡、おなじみの飯坂小唄などを次々に演奏していただきました。みどり会の皆さんの来園は今回で3回目、利用者の皆さん



は口ずさんだり手拍子をしたりして楽しんでおられました。あつかし荘の新年を三味線の音色とともに迎えることができましたこと御礼申し上げます。



また、新年会終了後は、テーブルバイキングが行われ、稲荷寿司と細巻寿司、春雨サラダ、海老シューマイ、おでんなどがテーブルいっぱい広げられ、皆さん方はおいしそうにほおぼっておられました。



## ■これからのおもな行事予定

- 3月19日 彼岸焼香
- 22日 阿津賀志食堂
- 23日 食の委員会
- 26日 信達福祉会評議員会  
第2回看取り介護学習会
- 27日 信達福祉会理事会
- 29日 お楽しみツアー
- 30日 ピオリラ演奏会
- 4月 1日 開所記念日
- 2日 ホーム内喫茶・おやつバイキング
- 10日 認知症介護プロジェクト会議
- 11日 リハビリ指導
- 12日 花見会(榮折・国見方面)
- 18日 お楽しみツアー
- 19日 テーブルバイキング
- 26日 グループレクリエーション

# 利用者の笑顔と安心を求めて リスクマネジメント

あつかし荘の取り組み④リスクマネジメント委員会

- ①グループケア改善委員会
- ②サービス向上委員会
- ③排泄ケア委員会
- ④リスクマネジメント委員会

あつかし荘の委員会ケアの取り組みを順にご紹介しております。4回目はリスクマネジメント委員会です。

「リスク」「リスクマネジメント」という言葉を最近耳にしませんか？

「リスク」とは実際の生活で起こりうる事故や危機・トラブルなどを言い、「リスクマネジメント」とは危機管理を意味します。

## ●施設運営に必要不可欠

近年、福祉サービスの環境は大きく変化しています。なかでも、利用者の事故を未然に防ぎ、かつ安心や安全を確保することはサービスの基本であり、事故を防ぐ対策を中心とした危機管理体制の確立が急がれています。つまり、リスクマネジメントの取り組みは施設運営において必要不可欠となってきたのです。

あつかし荘では3年前より「リスクマネジメント委員会」を立ち上げ、利用者の歩行中の転倒やベッドなどから



▲リスクマネジメント委員会の様子

の転落といった事故の予防、対策に取り組んできました。昨年6月には、法人としてリスクマネジメントの取り組みがスタートしました。

## ●PDCAサイクルの確立めざす

リスクマネジメントの取り組みは、まず、①リスクの把握（事故や「ヒヤリ」としたことを書面を通じ情報提供する。また施設の危険箇所点検などを行う）、次に、②リスクの分析と予防策の策定「Plan」（把握された事故の要因を分析し、予防策としてマニュアルを策定する）、続いて、③予防策の実行「Do」（策定されたマニュアルを全職員に周知徹底する。マニュアル内容の見直しなど）、そして、④実行状況の評価「Check」（事故対策等の成果や課題を評価する）、最後に、⑤事故予防策の見直し「Action」（評価に基づき、システム・組織体制の改革、予防策の見直しを行う）といった「PDCAサイクル」の確立をめざしています。

## ●職員一丸となって事故防止

リスクマネジメント委員会は月に1～2回開催し、PDCAサイクルの考え方を基に、事故の情報収集、再発防止策、マニュアルの作成、また「なぜ事故が起こるか」など、事故のメカニズムを考え、委員会を中心に職員一丸となっ

てさまざまな観点から事故の要因を分析し、事故防止に努めております。

今後も、「利用者の笑顔と安心を求めて」をスローガンに、利用者の安全を最大の眼目としたサービスの質および利用者満足度の向上をめざして取り組んでいきたいと思っております。

（介護士・吉田久俊）

### 〔リスクマネジメントの方針〕

1. 私たちは、リスクマネジメントの取り組みを法人・事業所全体で組織的に進めます。
2. 私たちは、リスクマネジメントの最大の目的に「利用者の安全」を据え、それに向けて全職員が連携・協働して取り組みます。
3. 私たちは、「より質の高いサービスを提供することが事故の未然防止につながる」という考えに立ってリスクマネジメントを進めます。
4. 私たちは、リスクマネジメントの取り組みによって、利用者が心身ともに穏やかに、また自立して生活していただけることを目指します。
5. 私たちは、家族との間に常にコミュニケーションと情報提供を図りながらリスクマネジメントを進めます。
6. 私たちは、社会の中での役割を自覚し、リスクマネジメントの取り組みを通して、地域から選ばれる法人・事業所を築きます。

## あつかし荘●ケア情報 plus

### 季節を感じる食事づくり

毎日の生活の中で欠かすことのできない食事。食べることは生命を維持するためにもっとも必要なことであると同時に、利用者の皆様にとっては日々の何より大きな楽しみであるかと思えます。

利用者の皆様は、外出の機会も少ないため、季節の食材を使ったり、咲いている花を添えたりと、少しでも季節を感じていただけるような工夫もしています。

これからは、食材の知識をはじめ、利用者さんの食べ物の好み、食べたいと思えるような食事づくりを身につけ、一人ひとりにおいしいと感じていただける食事を提供できるよう努力していきたいと思っております。（栄養士・上田）

### 看取り介護の取り組み

1月15日と16日の2日にわたって、第1回看取り介護学習会を開きました。今回は、昨年9月NHKで放映された兵庫県の特別養護老人ホーム「けま喜楽苑」の取り組みのビデオを見て意見交換を行いました。けま喜楽苑では、職員が利用者の死と向き合い、自らのこととして考え、毎日のケアにつなげていました。

学習会終了後に寄せられた職員の感想文には、けま喜楽苑のように日頃のケアを看取りにつながるケアの質に高めていくことが大事であり、同時に利用者の尊厳を守る大切さを学んだという意見、そして、何より一人ひとりの老いや死というものを日常のケアの中で意識すること

こそがサービスの向上につながるなどの声寄せられました。

あつかし荘では、「看取りに関する指針」に基づき、死生観教育、夜間・急変時の対応、チームケアなど、看取りの体制を確立していくために、ご本人はもとよりご家族のご意見などをお聞きし、協力病院である公立藤田総合病院医師の協力も得ながらマニュアルの整備、学習会等を重ねてまいります。



▲第1回学習会での意見交換の様子

# あつかし

## かわらばん

### クリスマス会 梁川保育園児来園

12月21日、クリスマス会を開きました。今年も梁川保育園の園児の皆さんにご来園いただき、心のコもったうたやハンドベルの演奏を披露していただきました。利用者みなさんは園児一人ひとりと握手し笑顔がこぼれました。

また、サンタクロースに扮した園長から園児一人ひとりにプレゼントが手渡されました。



### 色とりどりの縁起物 だんご飾り

1月13日、桑折町青少年育成町民会議半田部会の皆様に「だんご飾り」を今年もお届けいただきました。ミズキの枝に紅白のだんごや色とりどりの小判や宝船などの縁起物が飾られ、ホールが明るくにぎやかになりました。利用者の皆さんとともに一年の健康を願いました。



### グループごとに クレープづくり

2月8日、グループごとに分かれてクレープづくりが行なわれました。利用者さんの目の前で、職員がホットプレートで生地を焼き、その中にお好みでイチゴジャム・チョコクリーム・生クリーム・バナナなどを入れて、仕上げはチョコレートスプレーでトッピング。利用者さんの中には、初めて食べるという方も多く、「おいしい～」と大好評でした。



### 月に一度のお楽しみ 阿津賀志食堂ひらく

2月15日、恒例の阿津賀志食堂が開かれました。今回のメニューは煮込みかつ定食・天ぷらそば・あじ蒲焼丼でした。

利用者の皆さんは、町の食堂さながらのサンプルをじっくり眺めて、食べたいメニューを指さし、注文していました。

### 国見寿クラブ女性部さん お話ボランティア来園

12月20日、国見町寿クラブ連合会女性部の9名の皆さんが来園され、利用者さんとのお話をいただきました。また、タオルや雑巾等もご寄付いただきました。



## 今月のポイント介護

### 体温の正しい測り方

体温の測定部位には口の中、脇の下、肛門がありますが、肛門での値が一番高く、次に口の中、脇の下と続きます。体温を比べる場合は、必ず同じ部位で検温しましょう。

#### ■脇の下で測る場合

- ①安静時に脇の下の汗を乾いたタオルで軽く拭きます。きつくすると値が変わりますので注意
- ②脇の下のややくぼんだところにやや前方から入れます
- ③下ろした腕を前に曲げ、脇の下にすきまがないように
- ④横向きにしかなれない場合は、必ず上側で、片麻痺がある場合は、動く方の腕で

#### ■口の中で測る場合

- ①安静時に
- ②舌の下に入れ、軽く口をとじます
- ③検温中は、舌をあまり動かさないように
- ④口の中での検温は意識がはっきりしていることが条件です
- ⑤口の中で使う体温計はできれば個人用に

### ポータブルトイレの選び方

おむつは最後の手段です。排泄を他人にゆだねることは、お年寄りや病人にとって自尊心を傷つけられることです。たとえ、トイレまで歩けない、また間に合わないといった場合でも、できる限り排泄は自分の力で、座ることさえできればお部屋の中でポータブルトイレを使うことができます。

## あつかし荘サポーター募集しています!

#### おもな活動内容

- ・衣類等の洗濯、洗濯物たたみ
- ・お話し相手、レクリエーション
- ・歌や踊り、演奏などの披露
- ・食堂やホール、廊下等の床そうじ
- ・居室等の床そうじとガラスみがき
- ・車いすの清掃
- ・植栽の手入れ、草むしり
- ・その他

あつかし荘では、利用者さんの生活をサポートしていただけるボランティアさん(あつかし荘サポーター)を募集しております。ご都合の良い時間帯に、ご都合の良い時間だけあつかし荘にご協力いただけませんか?

個人・団体、年齢、資格、経験等は特に問いません。学生さんも歓迎します。あつかし荘にあなたのお力をお貸しください。お待ちしております。

■お問合せ、お申し込みは、あつかし荘までお気軽に Tel.024-585-5610

## あつかし掲示板

### ■ありがとうございます！

#### ●学生さん等の実習

ニチイ学館、県立福島北高等学校

#### ●ボランティアさん

【国見町】国見町婦人会、啓青の会、退公速伊達支部女性部、早田捷、岩野和子、相原ミツエ、大槻トリ

【桑折町】桑折町婦人会

(以上、平成19年3月15日まで、敬称略・順不同)

### ■介護保険制度の改定について

平成18年4月に介護保険制度の改定がありました。その中に、施設介護サービス費「福祉施設重度化対応加算」と呼ばれるものがあります。

これは、入所者の重度化等に伴う医療ニーズの増大等に対応する観点から、①看護師の配置と、②夜間における24時間連絡体制の確保、③看取りに関する指針の策定、④看取りに関する職員研修を行っていること、⑤看取りのための個室を確保していることなどの一定の要件を満たす場合に算定されるものです。

さらに、医師が終末期であると判断した利用者について、医師、看護師、介護職員等が共同して、本人又は家族等の同意を得ながら看取り介護を行った場合に「看取り介護加算」が算定されます。(菊池)

## Interview part3



大條信人さん(26)  
介護士

広報班では、あつかし荘の若手職員をインタビュー形式でご紹介いたします。第3回は介護士の大條信人さんです。

- 好きな食べ物は？  
ラーメン、さしみ、エリンギ(バターソテーがおいしいです)
- 嫌いな食べ物は？  
きくらげ(見た目もコリコリ感もやだ)、レバー
- 最近、ハマってるのは？  
DVD 集め(30本ぐらい持ってます)
- 趣味は？  
ツーリング、ドライブ
- 血液型は？  
B型です
- 最近、泣いたことは？  
TV 大泉洋の「東京タワー」を見て泣いてしまいました
- これから、どんな男になりたい？  
カッコイイパパになりたい(将来、男の子ができれば、バイクをやらせたいなあ)

## 苦情相談 受け付けます

あなたやあなたのご家族などが、現在ご利用されている当事業所の福祉サービスについて苦情相談等がありましたら、ご遠慮なく「苦情受付担当者」もしくは「第三者委員」にお申し付けください。

### 【苦情受付担当者】

処遇部長 嶋原 誠  
生活相談員 穴戸 克己

### 【第三者委員】

弁護士 千葉 和彦さん  
介護保険運営協議会委員 佐藤 豊治さん  
行政相談員 高橋 節子さん

### 【苦情解決責任者】

施設長 小野 智哉

## 居介

あつかし荘指定  
居宅介護支援事業所



佐藤奈穂子  
管理者兼介護支援専門員

みなさん、こんにちは。

あつかし荘指定居宅介護支援事業所の佐藤です。

居宅介護支援事業所は主に、

- 介護保険の申請手続きの代行
- ケアプランの作成
- 各種サービスの情報提供などを行うところです。

ご自宅でいろいろなサービスを利用しながら安心して生活できるようお手伝いしますので、介護に関する相談、困りごと等ございましたらお気軽にお電話ください。ご相談は無料です。

あつかし荘指定居宅介護支援事業所  
電話 024-585-5610

## A project

あつかし荘改善計画

あつかし荘ではこのほど、「A project」(あつかし荘改善計画)をまとめました。これは、昨年10月に講演いただいた本間郁子先生(特養ホームを良くする市民の会理事長



=写真)の提言を出発点としたもので、昨年末全職員にアンケートを実施、講演の感想とともに寄せられた改善ポイントおよそ100項目を12のジャンルに分け、4つの委員会(グルー

プケア改善・リスクマネジメント・サービス向上・排泄ケア)と各職種等(看護・事務・栄養士・相談員)で今後の方向性と計画を、実施期限・予算も含めて検討しました。

もちろん検討結果をすべて一度に実現していくことは困難ですので、当面の課題となるものを絞り込んで、新年度事業計画並びに予算に反映させました。

これらは全職員参加の手づくりの計画であり、これからも何度も検討を重ねて、よりよいあつかし荘の方向性を探りたいと思っております。新年度、「あつかし荘だより」紙上またはホームページ上でその途中経過をご報告いたします。(穴戸)

## 編集後記

◆記録的な暖冬で、いつも悩まされていた雪かきをしたのは今季わずかに1回。水不足にならなければいいのですが…。

◆あつかし荘も22年目。制度改正などの変化の中で、専門性の高いサービスの提供や地域社会での存在をいかに高めていくかが求められています。広報班では引

き続き「あつかし荘だより」やホームページ上で施設の様子や日々の取り組みをご

紹介してまいりますので、今後も変わらぬご指導をよろしくお願いいたします。

2007年3月15日号

編集 ● あつかし荘広報班

(穴戸克己、高橋睦子、松浦由巳子、菊池明央、嶋原 誠)

発行 ● 社会福祉法人信達福祉会 特別養護老人ホームあつかし荘  
〒969-1642 福島県伊達郡桑折町大字北半田字一本木前5-2  
TEL024-585-5610 FAX024-585-5611

URL <http://www.shintatsu.jp> E-mail: [atsukashi@shintatsu.jp](mailto:atsukashi@shintatsu.jp)

あつかし  
荘だより